

子供の火遊びによる火災の7割は、ライターが原因です。幼い子供が死亡する悲しい事故が起きています。



両親が外出中に、2歳の子供がライターで、室内に干してあった洗濯物に火をつけたため、出火
出典：東京消防庁

幼い子供のいる家庭では、 **旧型**の**ライター**を すぐに**処分**しましょう。

現在、使い捨てライターは、子供が簡単に操作できないようにするチャイルドレジスタンス機能が施されたPSC対応のもの以外は販売が禁止されています。

ライターは、子供が簡単に使えないPSCマーク付きを！

ただし、PSC対応ライターであっても周囲の大人の注意が必要です。





子供の手の届くところに、ライターを置かない。

ライターの保管には十分気を付け、子供だけを置いて外出するのは避けましょう。



子供にライターを触らせない。ライターで遊ばせない。

幼い子供によるライターを使った火遊びが、火災につながっています。



理解できる年齢になったら、子供に火の怖さを教える。

家庭や学校または地域社会において、火遊びの危険性について教えることも必要です。



不要なライターはガス抜きをしてから捨てましょう！

ライターを捨てる時は、安全にガス抜きをして、各自治体のルールに従い正しく廃棄しましょう。

ガス抜きの仕方

- 周囲に**火の気のない**ことを確認する。
- 操作レバーを押し下げる。着火した場合はすぐに吹き消す。
- 輪ゴムや粘着力の強いテープで、押し下げたままのレバーを固定する。
- 「シュー」という音が聞こえれば、ガスが噴出している。
- この状態のまま付近に**火の気のない、風通しのよい屋外**に半日から一日置く。
- 念のため着火操作をして、火がつかなければ、ガス抜きは完了です。



ガス抜きの様子

詳しくはこちら：一般社団法人日本喫煙具協会 HP

<http://www.jsaca.or.jp/info/throw.html>